授業科目名・形態	保健医療福祉行政論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	吉田　幸子	実務経験の有無	有	開講期	３年後期
科目ナンバリング	N3-3014pht				

【授業の主題】

保健医療福祉行政は時代変遷に伴い、人々が健康で暮らしやすい地域づくりを目的にした公的な活動であり、保健師は住民の生活視点にたち、これを具体化する活動を展開している。法律、制度に伴う行政の仕組みと役割、政策理念等基礎的な知識を習得し、住民のニーズに沿った社会資源の開発や施策化するためのプロセスを学び、行政における保健師の特性を理解する。

【到達目標】

１．保健医療福祉行政の基本および行政・財政の仕組みについて役割、政策理念等を理解できる。
２．保健医療福祉における各分野の制度の仕組みと機能、対策の実際や動向等について基本を理解できる。
３．保健医療福祉行政の施策への住民参加と、計画策定・実施・評価のサイクルの基本を理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　保健医療福祉行政の基本（保健医療福祉行政の根拠・公衆衛生の理念と戦略）
第 2 回　保健医療福祉制度の変遷（公衆衛生政策の基盤形成・保健医療福祉行政の動向）
第 3 回　保健医療福祉行政（国・都道府県・市町村の行政のしくみと役割、行政における保健師の役割）
第 4 回　保健医療福祉の財政について（財政のしくみ・予算編成、社会保障の給付と財源、国民負担等、公衆衛生に関する国際的な活動）
第 5 回　地域保健行政と保健師活動について（地域保健に関する公的機関とそれぞれの役割）
第 6 回　地域保健行政における関係機関の連携（地域・職域、学校保健、ボランティア等との連携協働）
第 7 回　社会保障制度と政策（理念としくみについて、法規と行政体系、制度改革）
第 8 回　医療制度と政策（医療制度・医療保険のしくみ、医療提供体制の管理と整備、医療安全対策。医療対策と医療保障について理解する）
第 9 回　介護保険制度（制度の概要、介護保険サービス内容、地域包括支援センター・地域包括ケアシステム、保健師の役割）
第 10 回　社会保障・社会福祉の制度（年金制度、雇用保険と労災、公的扶助、児童家庭福祉）
第 11 回　社会保障・社会福祉の制度（高齢者、障害者、成年後見制度と日常生活自立支援事業）
第 12 回　保健医療福祉の計画と評価について（地方公共団体の保健医療福祉計画）
第 13 回　保健計画の策定プロセス（目的の明確化と策定方法等、保健計画策定とエンパワーメント）
第 14 回　保健計画の推進と評価（住民への周知と評価の実際）
第 15 回　保健計画の立案

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。第 15 回にはグループワークを行う。

【事前・事後学習】

課題学習、ワークシート、試験対策等を含めトータル 60 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

「公衆衛生学」「公衆衛生看護学概論」「社会福祉概論」等の各科目

【教科書等】

標準保健師講座別巻 1 保健医療福祉行政論　第 5 版第 4 刷　2024　医学書院
国民衛生の動向　最新年度版　一般財団法人　厚生労働統計協会

【成績評価方法】

筆記試験の成績 100%により評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

保健師として保健計画策定・新興感染症対応・災害対応等に関わった経験から、学生には健康危機管理対応も身につけ住民の健康を守ることが保健師の役割であることを授業で活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

行政における保健師活動は、国・地方行政の制度上の業務が多い現状である。保健医療福祉行政論が基本となり、住民の安心・安全な生活を支援していく保健師として、日頃からマスコミで報道されている保健医療福祉に関する内容について関心を持ち、常に社会情勢に関心を持ってほしい。